

「関東大震災時の朝鮮人等虐殺 学習会とフィールドワーク」

《関東大震災》

1923年9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の大震災が関東一帯を襲った。罹災者340万4898人、死者9万1千余人、行方不明1万3千人。神奈川県は壊滅状態。東京、横浜では62.5%の家屋が焼失した。

《虚偽、デマの流布》

「社会主義者および朝鮮人の放火」、「不逞鮮人の来襲」などのデマが震災地、近県で流布された。交通の要所で自警団員らが検問し朝鮮人、中国人と見れば拘束し、暴行、虐殺した。混乱に便乗して軍隊が社会主義者、労働運動の活動家を殺害した。数千人の朝鮮人が虐殺されたとされている。

参加申し込み

■お名前

■所属（教会、団体など）

■ご住所

■お電話

■Eメール

「関東大震災時の朝鮮人等虐殺 学習会とフィールドワーク」の参加 お申し込みは以下へ
カトリック横浜教区正義と平和協議会 岡野神父（鷲の宮教会）
電話/FAX：053-434-5087

《お知らせ》

「明治大学平和教育登戸研究所資料館」見学会

横浜教区正義と平和協議会では、明治大学平和教育登戸研究所資料館の見学会を企画しています。

日時：11月10日（土）13時～16時（予定）

場所：明治大学平和教育登戸研究所資料館（明治大学生田キャンパス内）

「登戸研究所とは」

登戸研究所は、戦前に旧日本陸軍によって開設された研究所です。秘密戦兵器・資材を研究・開発していました（詳しい研究・開発内容は各展示室のご案内をご覧ください）。正式名称は第九陸軍技術研究所ですが、研究・開発内容を決して他に知られてはいけなかったために、「登戸研究所」と秘匿名でよばれていました。（明治大学ホームページより抜粋）